

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	35-2																																					
PDCA	主要事業名	企画展開催事業	部課名	新美南吉記念館	担当 内線	三輪 26-4888																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承 全体事業期間： 令和 5年度 ~ 5年度 全体事業費等： 3,071 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.07.07.01																																											
	事業概要等	事業概要： 南吉の魅力発信のために、時宜的な話題を捉え、南吉とその文学をテーマに企画展・特別展を開催する。令和5年度の特別展は、長野ヒデ子による南吉の新作絵本を中心とした原画展を行う。また童話「牛をつないだ樁の木」の掘り下げや、知多半島の自然を撮り続ける相地透氏の写真と南吉を関連付けるなど、多様な切り口で展示を行う。																																										
		事業目的： 常設展示とは違う視点で南吉とその文学を取り上げた企画展や特別展を開催することで、新たな魅力を感じてもらう。																																										
		事業内容： 4～7月に牛をつないだ樁の木展、7～10月に特別展「長野ヒデ子原画展」、11～1月に知多半島の自然と南吉写真展、1～3月にペーパーアート展を開催する。																																										
		問題点・課題等： 特別展はプロポーザル形式でアイデアとデザイン性に優れた企画案を得ているが、落選業者にはリスクが高く、参加社の確保に苦労している。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	3,071 千円	新美南吉記念館の対外的事業として、投入する労力・予算両面において、企画展と童話賞を2本柱としている。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 3,019 千円	毎年企画展・特別展を魅力あるものにする事で、リピーター増加へと繋げる。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特別展1日あたりの観覧者数</td> <td>実績値</td> <td>121</td> <td>217</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	特別展1日あたりの観覧者数	実績値	121	217	—	人	目標値	300	300	300	人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																							
特別展1日あたりの観覧者数	実績値	121	217	—	人																																							
	目標値	300	300	300	人																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
県費 0 千円																																												
その他 52 千円																																												
D 実績・得られた成果と	決算額	得られた成果																																										
	2,980 千円	南吉の生誕110年を記念し、新作絵本が発刊された2か月後に原画展を開催することで、より話題性のある特別展となった。目標値には届かなかったものの、特別展1日あたりの観覧者数も昨年より33人増となっている。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特別展1日あたりの観覧者数</td> <td>実績値</td> <td>250</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	特別展1日あたりの観覧者数	実績値	250	人	目標値	300	人																											
	成果指標		令和5年度	単位																																								
	特別展1日あたりの観覧者数	実績値	250	人																																								
目標値		300	人																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 観覧者の目標値は高めに設定している。コロナ禍で減ったものが順調に戻りつつあるが（平成31年は、282人／日）、まだ目標値にもコロナ禍前にも届いていない。観覧者の増減については、展示内容以外の外部要因として、秋の彼岸花の開花状況が影響していると思われる、観光のついでではなく目的となるような展示作成が求められる。																																										
A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 生誕110年で南吉に注目した人々の関心を維持し、さらに新しい層を開拓できるような企画を立てる必要がある。そのために、今後も原画展や、作品の内容に関わる展示など、多彩な切り口で企画を立案する。																																										
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地	ない																																							
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある																																									
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）